

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2027年2月23日〔当初、2022年2月23日〕まで (2012年2月17日設定)	
運用方針	ファミリーファンド方式により、信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	ベビーファンド	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド受益証券
	マザーファンド	世界各国の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・世界各国の株式のうち、プレミアム企業の株式に投資を行い、中長期的な値上がり益の獲得を目指します。 ・銘柄の選定に際しては、長期保有を視野に徹底的なボトムアップ・アプローチを行い、利益成長の持続可能性を多面的に分析します。 ・モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに運用指図の権限を委託します。 ・外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行いません。 	
主な組入制限	ベビーファンド	<ul style="list-style-type: none"> ・マザーファンドへの投資割合は、制限を設けません。 ・株式への実質投資割合は、制限を設けません。 ・同一銘柄の株式への実質投資割合は、当ファンドの純資産総額の10%以内とします。 ・外貨建資産への実質投資割合は、制限を設けません。
	マザーファンド	<ul style="list-style-type: none"> ・株式への投資割合は、制限を設けません。 ・同一銘柄の株式への投資割合は、当マザーファンドの純資産総額の10%以内とします。 ・外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。
分配方針	毎年2月23日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、収益配分方針に基づいて分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案して、分配金額を決定します。（ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わない場合もあります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

モルガン・スタンレー グローバル・
プレミアム株式オープン（為替ヘッジなし）

第7期（決算日：2019年2月25日）



信託期間を従来の2022年2月23日から2027年2月23日へ延長しました。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン（為替ヘッジなし）」は、去る2月25日に第7期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

■ ファンドマネージャーのコメント

◆ 当期の運用で主眼を置いたポイント

- ・2017年の強気相場を経た結果、株式のバリュエーションは高まっており、市場が大きく下振れするリスクがあると考えました。このような中、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される「プレミアム企業」の魅力が高まると想定し、従来通りのポートフォリオ構築に努めました。実際に株式相場が下落する局面では、当ファンドの底堅いパフォーマンスが際立ちました。
- ・主な投資行動としてはヘルスケアセクター、生活必需品セクターで新規組入を行いました。ヘルスケア、生活必需品、そして情報技術セクター内のソフトウェア・サービス業種はリーマンショック後の金融危機において非常に高い利益の耐久力を示しており、今後想定される景況感悪化局面においても、底堅い業績と株価パフォーマンスが期待できると考えます。
- ・保有銘柄のうちBRITISH AMERICAN TOBACCO PLCは下落しました。当期はJUUL LABS INCの電子たばこの激しい競争、REYNOLDS AMERICAN INCの高額な買収の負債負担、米国食品医薬品局（FDA）による米国内の将来的なメンソールたばこの規制方針発表などを背景に下落しました。足下の株価は割安であるとみており、引き続き保有しています。なお、たばこ株ではPHILIP MORRIS INTERNATIONALを選好して多く保有しています。

◆ 今後の見通し

- ・景気低迷が世界的に同時進行する兆候があるとみており、特に中国の景気減速を懸念しています。企業の業績予想値は悪材料を織り込みきれていないと考えており、世界の企業利益の下振れが懸念されます。またBBB格（投資適格社債の中で最も格付が低い）の米国社債の残高拡大も懸念しています。米国が景気減速した際に、米国社債市場が混乱することによって投資家のリスク回避姿勢が強まり、株式市場が低迷することを想定しています。

◆ 運用方針

- ・当運用が保有する銘柄である「プレミアム企業」は、すなわちどのような景気局面でも安定して複利のように利益を増幅させることができ、潜在的な脅威に対しても高い抵抗力を持つと考えます。投資家が株式投資全般から逃避する際には株式市場全体として株価が下落しますが、「プレミアム企業」であればEPS（1株あたり利益）の上昇で株価は回復すると考えます。
- ・株式市場の見通しが不透明な状況では、高い価格決定力と低い投下資本で株主利益を長期的に増大させることができる、非常に質が高い企業を保有する当運用の投資方針が有効であると考えています。引き続き、高いブランド力や有力な特許、強固な販売網などの競争優位の無形資産を裏付けに持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される「プレミアム企業」の株式を中心にポートフォリオを構築する方針です。
- ・足下は、「生活必需品」「ソフトウェア」「ヘルスケア」などの「プレミアム企業」に注目しています。



上記は、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドの資料を基に、三菱UFJ国際投信が作成したものです。

モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッド
 インターナショナル・エクイティ運用チーム
 運用責任者
 ウィリアム・ロック

ファンド・マネジャー
 ブルーノ・ポールソン

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			米ドル為替		(参考指数) MSCI ワールド・ インデックス(税引き後 配当込み米ドル建て)	株式 組入比率	株式 先物比率	純資産 総額	
	(分配落)	税金 分配	み 金 騰 落 率	期 騰 落 率	中 騰 落 率					
	円	円	%	円	%		%	%	百万円	
3期(2015年2月23日)	18,030	500	24.8	119.08	16.1	14,711	8.6	96.4	—	5,996
4期(2016年2月23日)	16,761	400	△ 4.8	112.67	△ 5.4	13,217	△ 10.2	96.9	—	7,051
5期(2017年2月23日)	18,683	400	13.9	113.37	0.6	15,948	20.7	97.0	—	8,408
6期(2018年2月23日)	19,955	400	8.9	107.01	△ 5.6	18,676	17.1	95.7	—	19,749
7期(2019年2月25日)	21,672	500	11.1	110.78	3.5	18,769	0.5	97.9	—	39,633

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) MSCI ワールド・インデックス(税引き後配当込み米ドル建て)(出所: MSCI)の基準日前営業日の指数を当ファンドの設定時を10,000として三菱UFJ国際投信が指数化したものです。

出所: MSCI。ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性及び完結性をMSCIは何ら保証するものではありません。またその著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		米 ド ル 為 替		(参 考 指 数) MSCI ワールド・ インデックス (税引き後 配当込み米ドル建て)	株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率
	円	騰 落 率	円	騰 落 率			
(期 首) 2018年2月23日	19,955	—	107.01	—	18,676	95.7	—
2月末	20,130	0.9	107.37	0.3	18,887	94.7	—
3月末	19,759	△ 1.0	106.24	△0.7	18,270	96.5	—
4月末	20,213	1.3	109.35	2.2	18,539	97.3	—
5月末	20,441	2.4	108.70	1.6	18,671	95.4	—
6月末	21,212	6.3	110.54	3.3	18,511	96.4	—
7月末	21,845	9.5	111.01	3.7	19,135	96.9	—
8月末	22,151	11.0	111.06	3.8	19,470	96.8	—
9月末	22,951	15.0	113.57	6.1	19,566	96.5	—
10月末	21,389	7.2	113.26	5.8	17,869	96.1	—
11月末	22,145	11.0	113.47	6.0	18,237	96.4	—
12月末	20,141	0.9	111.00	3.7	16,709	97.3	—
2019年1月末	20,708	3.8	108.96	1.8	18,060	96.6	—
(期 末) 2019年2月25日	22,172	11.1	110.78	3.5	18,769	97.9	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

当期中の基準価額等の推移について

（第7期：2018/2/24～2019/2/25）

基準価額の動き

基準価額は、期首に比べ11.1%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。



・分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。



実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入金額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の主な変動要因

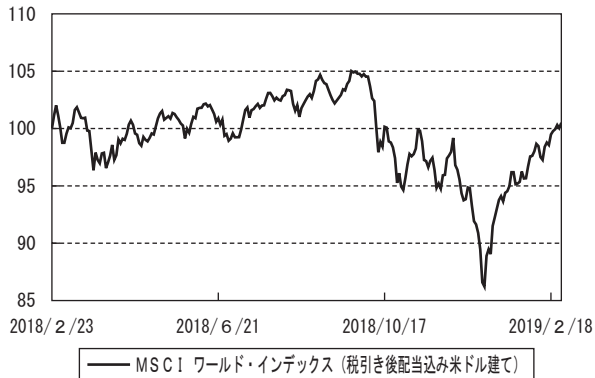
上昇要因

MICROSOFT CORP（米国）やTWENTY-FIRST CENTURY FOX（米国）の株価が上昇したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

投資環境について

（第7期：2018/2/24～2019/2/25）

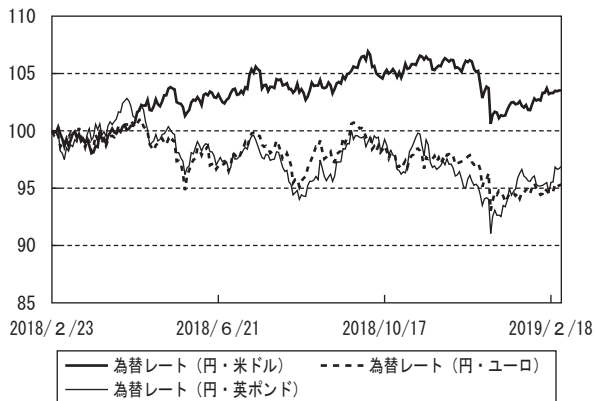
参考指数の推移 （期首を100として指数化）



◎株式市況

・先進国株式市場は上昇しました。期初から2018年9月末にかけては、堅調な米国経済指標や米国企業決算が好調であったことなどから上昇しました。10月から12月末にかけては、米中貿易摩擦への懸念や世界経済の不透明感の高まりなどを背景に下落しました。2019年1月以降は米連邦準備制度理事会（FRB）議長の発言がハト派であったことなどから上昇しました。セクター別では、公益事業や不動産などが上昇する一方で金融や素材などは下落しました。

為替市況の推移 （期首を100として指数化）



◎為替市況

・米ドルは、堅調な米国経済指標などを背景に対円で上昇しました。ユーロや英ポンドはイタリアの政情不安などを背景に対円で下落しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

i 期間中にどのような運用をしたかを確認できます。

＜モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン（為替ヘッジなし）＞

・モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、組入比率を高位に保ちました。実質外貨建資産について、為替ヘッジを行いませんでした。

＜モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド＞

基準価額は、期首に比べ13.4%の上昇となりました。

- ・当期は、高いブランド力や有力な特許、強固な販売網などの競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される「プレミアム企業」の株式を中心に投資を行いました。また、株式の組入比率は、おおむね高位を保ちました。
- ・銘柄の選定に際しては、長期保有を視野に徹底したボトムアップ・アプローチを行い、利益成長の持続可能性を多面的に分析することにより行いました。なお、運用指図に関する権限をモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに委託しています。

銘柄入替のポイントは以下の通りです。

◎主な新規組入銘柄

- ・ABBOTT LABORATORIES（米国）：米国を基盤として医療用品、診断器具、栄養食品などを手がけるヘルスケア企業。多くの分野で高いシェアを誇っており、特に診断器具や栄養食品などの分野における今後の成長を期待して新たに組み入れました。
- ・CHURCH & DWIGHT CO INC（米国）：米国を主要市場とする家庭用品・パーソナルケア用品の製造会社。効果的な買収を行っている経営陣を評価したことに加え、株価も割安な水準にあると判断して新たに組み入れました。

◎主な売却銘柄

- ・ALTRIA GROUP INC（米国）：同じたばこ銘柄の中で相対的に業績期待が高いと判断したPHILIP MORRIS INTERNATIONALを買い増しするため、全株売却しました。
- ・INTL FLAVORS & FRAGRANCES（米国）：同業他社の買収が発表されたものの、負債増加と業績先行きの不透明感に対する懸念から、全株売却しました。

以上の投資判断の結果、パフォーマンスに影響を与えた主な銘柄は以下の通りです。

（プラス要因）

◎銘柄

- ・ MICROSOFT CORP（米国）：クラウド関連事業の成長性に対する期待や市場予想を上回る決算を発表したことなどによって、株価が上昇しました。
- ・ TWENTY-FIRST CENTURY FOX（米国）：WALT DISNEY CO/THEとCOMCAST CORPによる買収価格の引き上げ期待などから、株価が上昇しました。

当期は、主に組入銘柄の株価上昇により基準価額は上昇しました。

（ご参考）

業種別比率

期首（2018年2月23日）

	業種	比率
1	生活必需品	41.8%
2	情報技術	30.3%
3	一般消費財・サービス	9.1%
4	ヘルスケア	7.1%
5	資本財・サービス	5.7%
6	金融	2.7%
7	素材	0.8%

期末（2019年2月25日）

	業種	比率
1	生活必需品	39.3%
2	情報技術	26.3%
3	ヘルスケア	14.8%
4	コミュニケーション・サービス	7.1%
5	資本財・サービス	6.1%
6	金融	2.7%
7	一般消費財・サービス	2.1%



・比率はマザーファンドの純資産総額に対する割合です。

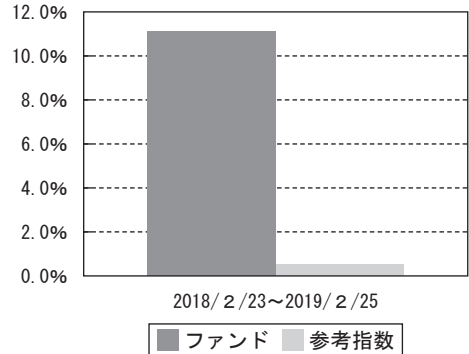
・業種はG I C S（世界産業分類基準）のセクター分類に基づいております。Global Industry Classification Standard（“G I C S”）は、MSCI Inc.とS&P（Standard & Poor's）が開発した業種分類です。G I C Sに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

当該投資信託のベンチマークとの差異について

i ベンチマークまたは参考指数と比較することで、期間中の運用内容を評価することができます。

- ・当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ・参考指数は、MSCI ワールド・インデックス（税引き後配当込み米ドル建て）です。
- ・参考指数は、米ドル建てであり、為替を考慮していない点にご留意ください。

基準価額と参考指数の対比（騰落率）



・ファンドの騰落率は分配金込みで計算していません。

分配金について

i 分配金の内訳および翌期繰越分配対象額（翌期に繰越す分配原資）がどの程度あるかを確認できます。

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、残存信託期間等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

【分配原資の内訳】 (単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第7期
	2018年2月24日～2019年2月25日
当期分配金	500
(対基準価額比率)	2.255%
当期の収益	500
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	11,671

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

<モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン（為替ヘッジなし）>

◎今後の運用方針

- ・引き続き、モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド受益証券の組入比率を高位に保ち運用を行っていく方針です。実質外貨建資産について、原則として為替ヘッジを行いません。

<モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド>

◎運用環境の見通し

- ・景気低迷が世界的に同時進行する兆候があるとみており、特に中国の景気減速を懸念しています。企業の業績予想値は悪材料を織り込みきれていないと考えており、世界の企業利益の下振れが懸念されます。またBBB格（投資適格社債の中で最も格付が低い）の米国社債の残高拡大も懸念しています。米国が景気減速した際に、米国社債市場が混乱することによって投資家のリスク回避姿勢が強まり、株式市場が低迷することを想定しています。

◎今後の運用方針

- ・当運用が保有する銘柄である「プレミアム企業」は、すなわちどのような景気局面でも安定して複利のように利益を増幅させることができ、潜在的な脅威に対しても高い抵抗力を持つと考えます。投資家が株式投資全般から逃避する際には株式市場全体として株価が下落しますが、「プレミアム企業」であればEPS（1株あたり利益）の上昇で株価は回復すると考えます。
- ・株式市場の見通しが不透明な状況では、高い価格決定力と低い投下資本で株主利益を長期的に増大させることができる、非常に質が高い企業を保有する当運用の投資方針が有効であると考えています。引き続き、高いブランド力や有力な特許、強固な販売網などの競争優位の無形資産を裏付けに持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される「プレミアム企業」の株式を中心にポートフォリオを構築する方針です。
- ・足下は、「生活必需品」「ソフトウェア」「ヘルスケア」などの「プレミアム企業」に注目しています。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年2月24日～2019年2月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 415	% 1.960	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率× (期中の日数÷年間日数)
（ 投 信 会 社 ）	(242)	(1.143)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（ 販 売 会 社 ）	(161)	(0.762)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(12)	(0.054)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	4	0.017	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	(4)	(0.017)	有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	17	0.079	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
（ 株 式 ）	(17)	(0.079)	有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	7	0.031	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(4)	(0.020)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（ 監 査 費 用 ）	(2)	(0.011)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	443	2.087	
期中の平均基準価額は、21,172円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年2月24日～2019年2月25日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド	千口 6,290,252	千円 17,830,000	千口 486,675	千円 1,422,000

○株式売買比率

(2018年2月24日～2019年2月25日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期	
	モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	54,053,242千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	54,737,075千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.98	

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2018年2月24日～2019年2月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2019年2月25日現在)

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド	千口 7,297,626	千口 13,101,202	千円 39,434,618

○投資信託財産の構成

(2019年2月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド	千円 39,434,618	% 95.5
コール・ローン等、その他	1,868,961	4.5
投資信託財産総額	41,303,579	100.0

(注) モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産（73,450,382千円）の投資信託財産総額（73,476,892千円）に対する比率は100.0%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=110.78円	1 ユーロ=125.69円	1 イギリスポンド=144.76円	1 スイスフラン=110.82円
1 スウェーデンクローネ=11.87円			

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2019年2月25日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	41,303,579,960
コール・ローン等	1,629,961,004
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド(信託)	39,434,618,956
未収入金	239,000,000
(B) 負債	1,670,011,373
未払収益分配金	914,410,668
未払解約金	408,483,036
未払信託報酬	345,197,066
未払利息	2,902
その他未払費用	1,917,701
(C) 純資産総額(A-B)	39,633,568,587
元本	18,288,213,375
次期繰越損益金	21,345,355,212
(D) 受益権総口数	18,288,213,375口
1万口当たり基準価額(C/D)	21,672円

<注記事項>

- ①期首元本額 9,896,986,643円
 期中追加設定元本額 11,798,349,409円
 期中一部解約元本額 3,407,122,677円
 また、1口当たり純資産額は、期末2,1672円です。

○損益の状況（2018年2月24日～2019年2月25日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 252,088
支払利息	△ 252,088
(B) 有価証券売買損益	3,214,506,740
売買益	3,657,810,783
売買損	△ 443,304,043
(C) 信託報酬等	△ 592,224,441
(D) 当期損益金(A+B+C)	2,622,030,211
(E) 前期繰越損益金	△ 51,606,824
(F) 追加信託差損益金	19,689,342,493
(配当等相当額)	(7,129,122,891)
(売買損益相当額)	(12,560,219,602)
(G) 計(D+E+F)	22,259,765,880
(H) 収益分配金	△ 914,410,668
次期繰越損益金(G+H)	21,345,355,212
追加信託差損益金	19,689,342,493
(配当等相当額)	(7,165,926,509)
(売買損益相当額)	(12,523,415,984)
分配準備積立金	1,656,012,719

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

②分配金の計算過程

項 目	2018年2月24日～ 2019年2月25日
費用控除後の配当等収益額	468,948,886円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	2,101,064,304円
収益調整金額	19,689,342,493円
分配準備積立金額	410,197円
当ファンドの分配対象収益額	22,259,765,880円
1万口当たり収益分配対象額	12,171円
1万口当たり分配金額	500円
収益分配金金額	914,410,668円

- ③「モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド」の信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用として、信託財産に属する同親投資信託の信託財産の純資産総額に対し、次に定める率を乗じて得た額を委託者報酬の中から支弁しております。
- | | |
|--------------------|---------|
| 20億円以下の部分に対して | 年1万分の80 |
| 20億円超40億円以下の部分に対して | 年1万分の75 |
| 40億円超80億円以下の部分に対して | 年1万分の70 |
| 80億円超の部分に対して | 年1万分の65 |

○分配金のお知らせ

1 万円当たり分配金（税込み）	500円
-----------------	------

◆分配金は決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、2019年2月25日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

【お知らせ】

①信託期間を従来の2022年2月23日から2027年2月23日へ延長し、信託約款に所要の変更を行いました。
(2018年5月23日)

②2014年1月1日から、2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が付加され、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%（法人受益者は15.315%の源泉徴収が行われます。））の税率が適用されます。

モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド

《第14期》決算日2019年2月25日

[計算期間：2018年8月24日～2019年2月25日]

「モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン マザーファンド」は、
2月25日に第14期の決算を行いました。

以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第14期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	<ul style="list-style-type: none"> ・信託財産の成長を目指して運用を行います。 ・運用指図委託契約に基づき、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメン ト・リミテッドに運用指図に関する権限を委託します。
主 要 運 用 対 象	世界各国の金融商品取引所上場（これに準ずるものを含みます。）株式
主 な 組 入 制 限	<ul style="list-style-type: none"> ・株式への投資割合は、制限を設けません。 ・同一銘柄の株式への投資割合は、当マザーファンドの純資産総額の10%以内とします。 ・外貨建資産への投資割合は、制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		米 ド ル 為 替		(参 考 指 数) MSCI ワールド・ インデックス (税引き後 配当込み米ドル建て)		株 式 組 入 比 率	株 先 物 比 率	純 資 産 額
	期 中 騰 落 率	期 中 騰 落 率	期 中 騰 落 率	期 中 騰 落 率	期 中 騰 落 率	期 中 騰 落 率			
	円	%	円	%		%	%	%	百万円
10期(2017年2月23日)	23,894	18.1	113.37	13.2	15,948	7.2	97.5	—	18,520
11期(2017年8月23日)	25,194	5.4	109.74	△ 3.2	17,032	6.8	97.7	—	25,353
12期(2018年2月23日)	26,552	5.4	107.01	△ 2.5	18,676	9.7	97.5	—	39,444
13期(2018年8月23日)	29,548	11.3	110.78	3.5	19,235	3.0	97.3	—	57,749
14期(2019年2月25日)	30,100	1.9	110.78	0.0	18,769	△2.4	98.4	—	73,237

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) MSCI ワールド・インデックス (税引き後配当込み米ドル建て) (出所: MSCI) の基準日前営業日の指数を当ファンドの設定時を10,000として三菱UFJ国際投信が指数化したものです。

出所: MSCI。ここに掲載される全ての情報は、信頼の置ける情報源から得たものでありますが、その確実性及び完結性をMSCIは何ら保証するものではありません。またその著作権はMSCIに帰属しており、その許諾なしにコピーを含め電子的、機械的な一切の手段その他あらゆる形態を用い、またはあらゆる情報保存、検索システムを用いて出版物、資料、データ等の全部または一部を複製・頒布・使用等することは禁じられています。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		米 ド ル 為 替		(参 考 指 数) MSCI ワールド・ インデックス (税引き後 配当込み米ドル建て)	株 式 組 入 比 率	株 式 先 物 比 率
	円	騰 落 率	円	騰 落 率			
(期 首) 2018年8月23日	29,548	—	110.78	—	19,235	97.3	—
8 月 末	29,789	0.8	111.06	0.3	19,470	97.6	—
9 月 末	30,919	4.6	113.57	2.5	19,566	97.7	—
10 月 末	28,848	△2.4	113.26	2.2	17,869	97.2	—
11 月 末	29,924	1.3	113.47	2.4	18,237	97.4	—
12 月 末	27,240	△7.8	111.00	0.2	16,709	97.8	—
2019年1月末	28,056	△5.0	108.96	△1.6	18,060	97.4	—
(期 末) 2019年2月25日	30,100	1.9	110.78	0.0	18,769	98.4	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は、期首に比べ1.9%の上昇となりました。

基準価額等の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

●基準価額の主な変動要因

ABBOTT LABORATORIES (米国) や TWENTY-FIRST CENTURY FOX (米国) の株価が上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。

●投資環境について

◎株式市況

参考指数の推移 (期首を100として指数化)

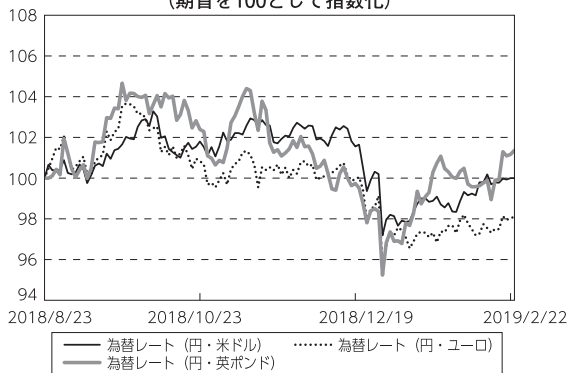


・先進国株式市場は下落しました。期首から2018年9月末にかけては、米中貿易摩擦に対する懸

念が和らぐとの期待などから上昇しました。10月から12月末にかけては、米中貿易摩擦への懸念や世界経済の不透明感の高まりなどを背景に下落しました。2019年1月以降は米連邦準備制度理事会（FRB）議長の発言がハト派であったことなどから上昇しました。セクター別では、公益事業や不動産などが上昇する一方でエネルギーや金融などは下落しました。

◎為替市況

為替市況の推移
(期首を100として指数化)



- ・米ドルは対円でほぼ変わらずとなりました。英ポンドは、欧州連合（EU）からの離脱を巡る楽観から対円で上昇しました。ユーロはユーロ圏の景気先行きへの懸念などから対円で下落しました。

- 当該投資信託のポートフォリオについて
 - ・当期は、高いブランド力や有力な特許、強固な販売網などの競争優位の無形資産を裏付けに、持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される「プレミアム企業」の株式を中心に投資を行いました。また、株式の組入比率は、おおむね高位を保ちました。
 - ・銘柄の選定に際しては、長期保有を視野に徹底したボトムアップ・アプローチを行い、利益成長の持続可能性を多面的に分析することにより行いました。なお、運用指図に関する権限をモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・リミテッドに委託しています。

銘柄入替のポイントは以下の通りです。

◎主な売却銘柄

- ・ALTRIA GROUP INC（米国）：同じたばこ銘柄の中で相対的に業績期待が高いと判断したPHILIP MORRIS INTERNATIONALを買い増しするため、全株売却しました。

以上の投資判断の結果、パフォーマンスに影響を与えた主な銘柄は以下の通りです。

（プラス要因）

◎銘柄

- ・ABBOTT LABORATORIES（米国）：カテーテルを使用した心臓治療で予想以上の好結果となったことなどによって、株価が上昇しました。
- ・TWENTY-FIRST CENTURY FOX（米国）：WALT DISNEY CO/THEによる同社の資産買収について、中国当局が無条件で承認したことなどにより、株価が上昇しました。

当期は、主に組入銘柄の株価上昇により基準価額は上昇しました。

○今後の運用方針

◎運用環境の見通し

- ・景気低迷が世界的に同時進行する兆候があるとみており、特に中国の景気減速を懸念しています。企業の業績予想値は悪材料を織り込みきれないと考えており、世界の企業利益の下振れが懸念されます。またBBB格（投資適格社債の中で最も格付が低い）の米国社債の残高拡大も懸念しています。米国が景気減速した際に、米国社債市場が混乱することによって投資家のリスク回避姿勢が強まり、株式市場が低迷することを想定しています。

◎今後の運用方針

- ・当運用が保有する銘柄である「プレミアム企業」は、すなわちどのような景気局面でも安定して複利のように利益を増幅させることができ、潜在的な脅威に対しても高い抵抗力を持つと考えます。投資家が株式投資全般から逃避する際には株式市場全体として株価が下落しますが、「プレミアム企業」であればEPS（1株あたり利益）の上昇で株価は回復すると考えます。
- ・株式市場の見通しが不透明な状況では、高い価格決定力と低い投下資本で株主利益を長期的に増大させることができる、非常に質が高い企業を保有する当運用の投資方針が有効であると考えています。引き続き、高いブランド力や有力な特許、強固な販売網などの競争優位の無形資産を裏付けに持続的にフリー・キャッシュフローを増大させることが期待される「プレミアム企業」の株式を中心にポートフォリオを構築する方針です。
- ・足下は、「生活必需品」「ソフトウェア」「ヘルスケア」などの「プレミアム企業」に注目しています。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2018年8月24日～2019年2月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 2 (2)	% 0.006 (0.006)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	10 (10)	0.033 (0.033)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	2 (2)	0.009 (0.009)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
合 計	14	0.048	
期中の平均基準価額は、29,093円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2018年8月24日～2019年2月25日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	アメリカ	百株 13,540	千アメリカドル 108,605	百株 4,734	千アメリカドル 32,567
	ユーロ		千ユーロ		千ユーロ
	ドイツ	750	6,983	59	564
	イタリア	1,670	1,223	2,098	1,556
	フランス	517	8,477	191	3,270
	オランダ	1,236 (△ 3,062)	9,220 (△ 5,882)	55	489
	イギリス	604 (3,062)	1,095 (5,882)	711	1,241
	イギリス	7,751	千イギリスポンド 27,861	959	千イギリスポンド 3,413

(注) 金額は受渡代金。

(注) ()内は株式分割・増資割当および合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○株式売買比率

(2018年8月24日～2019年2月25日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	24,684,421千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	62,947,679千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.39

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2018年8月24日～2019年2月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2019年2月25日現在)

外国株式

銘柄	株数	期首(前期末)		当 期 末		業 種 等
		株数	株数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円		
ABBOTT LABORATORIES	2,250	2,850	21,700	2,403,978		ヘルスケア機器・サービス
AUTOMATIC DATA PROCESSING	1,196	1,509	23,129	2,562,276		ソフトウェア・サービス
ACCENTURE PLC-CL A	1,420	1,798	29,046	3,217,798		ソフトウェア・サービス
BAXTER INTERNATIONAL INC	1,194	3,430	25,617	2,837,879		ヘルスケア機器・サービス
BECTON DICKINSON AND CO	202	260	6,493	719,367		ヘルスケア機器・サービス
COCA-COLA CO/THE	4,148	4,907	22,222	2,461,765		食品・飲料・タバコ
DANAHER CORP	1,557	1,912	21,702	2,404,226		ヘルスケア機器・サービス
FACTSET RESEARCH SYSTEMS INC	326	416	9,644	1,068,399		各種金融
MOODY'S CORP	382	488	8,435	934,488		各種金融
TWENTY-FIRST CENTURY FOX-A	3,928	5,047	25,826	2,861,113		メディア・娯楽
TWENTY-FIRST CENTURY FOX - B	3,250	4,214	21,424	2,373,410		メディア・娯楽
ALTRIA GROUP INC	1,821	-	-	-		食品・飲料・タバコ
CLOROX COMPANY	378	377	6,030	668,061		家庭用品・パーソナル用品
FIDELITY NATIONAL INFO SERV	1,024	1,270	13,600	1,506,691		ソフトウェア・サービス
NIKE INC -CL B	1,890	1,599	13,553	1,501,443		耐久消費財・アパレル
MICROSOFT CORP	3,462	4,236	47,013	5,208,124		ソフトウェア・サービス
PHILIP MORRIS INTERNATIONAL	2,739	4,959	43,225	4,788,485		食品・飲料・タバコ
VISA INC-CLASS A SHARES	1,755	2,227	32,490	3,599,281		ソフトウェア・サービス
CHURCH & DWIGHT CO INC	944	956	6,338	702,148		家庭用品・パーソナル用品
ZOETIS INC	2,136	2,353	22,270	2,467,098		医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
小 計	株数・金額	36,011	44,817	399,765	44,286,037	
	銘柄数<比率>	20	19	-	<60.5%>	
(ユーロ…ドイツ)				千ユーロ		
SAP SE	1,925	2,616	24,962	3,137,548		ソフトウェア・サービス
小 計	株数・金額	1,925	2,616	24,962	3,137,548	
	銘柄数<比率>	1	1	-	<4.3%>	
(ユーロ…イタリア)						
DAVIDE CAMPARI-MILANO SPA	8,530	8,102	6,708	843,205		食品・飲料・タバコ
小 計	株数・金額	8,530	8,102	6,708	843,205	
	銘柄数<比率>	1	1	-	<1.2%>	
(ユーロ…フランス)						
L'OREAL	759	890	20,035	2,518,230		家庭用品・パーソナル用品
PERNOD RICARD SA	1,073	1,268	19,270	2,422,069		食品・飲料・タバコ
小 計	株数・金額	1,833	2,158	39,305	4,940,300	
	銘柄数<比率>	2	2	-	<6.7%>	
(ユーロ…オランダ)						
HEINEKEN NV	1,353	2,432	21,415	2,691,673		食品・飲料・タバコ
RELX NV	2,961	-	-	-		商業・専門サービス
小 計	株数・金額	4,314	2,432	21,415	2,691,673	
	銘柄数<比率>	2	1	-	<3.7%>	
(ユーロ…イギリス)						
RELX PLC	-	2,956	6,034	758,476		商業・専門サービス
小 計	株数・金額	-	2,956	6,034	758,476	
	銘柄数<比率>	-	1	-	<1.0%>	
ユ ー ロ 計	株数・金額	16,604	18,266	98,426	12,371,204	
	銘柄数<比率>	6	6	-	<16.9%>	

銘柄	株数	当期		業種等		
		株数	評価額			
			外貨建金額		邦貨換算金額	
(イギリス)	百株	百株	千イギリスポンド	千円		
UNILEVER PLC	5,155	6,091	25,522	3,694,595	家庭用品・パーソナル用品	
RELX PLC	6,035	7,645	13,528	1,958,357	商業・専門サービス	
RECKITT BENCKISER GROUP PLC	4,819	6,660	39,157	5,668,489	家庭用品・パーソナル用品	
BRITISH AMERICAN TOBACCO PLC	4,476	5,593	16,063	2,325,283	食品・飲料・タバコ	
EXPERIAN PLC	4,647	5,936	12,204	1,766,794	商業・専門サービス	
小計	株数・金額 銘柄数<比率>	25,134 5	31,927 5	106,476 -	15,413,520 <21.0%>	
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	77,750 31	95,011 30	- -	72,070,763 <98.4%>	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の<>内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2019年2月25日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円 72,070,763	% 98.1
コール・ローン等、その他	1,406,129	1.9
投資信託財産総額	73,476,892	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(73,450,382千円)の投資信託財産総額(73,476,892千円)に対する比率は100.0%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1アメリカドル=110.78円	1ユーロ=125.69円	1イギリスポンド=144.76円	1スイスフラン=110.82円
1スウェーデンクローネ=11.87円			

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年2月25日現在)

項 目	当 期 末	円
(A) 資産	73,476,892,160	
コール・ローン等	△ 172,083,320	
株式(評価額)	72,070,763,034	
未収入金	1,514,010,670	
未収配当金	64,201,776	
(B) 負債	239,000,047	
未払解約金	239,000,000	
未払利息	47	
(C) 純資産総額(A-B)	73,237,892,113	
元本	24,331,655,338	
次期繰越損益金	48,906,236,775	
(D) 受益権総口数	24,331,655,338口	
1万口当たり基準価額(C/D)	30,100円	

<注記事項>

- ①期首元本額 19,544,013,869円
 期中追加設定元本額 5,684,236,984円
 期中一部解約元本額 896,595,515円
 また、1口当たり純資産額は、期末3,0100円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン (為替ヘッジあり)	11,230,453,027円
モルガン・スタンレー グローバル・プレミアム株式オープン (為替ヘッジなし)	13,101,202,311円
合計	24,331,655,338円

○損益の状況 (2018年8月24日～2019年2月25日)

項 目	当 期	円
(A) 配当等収益	490,310,445	
受取配当金	480,994,167	
受取利息	9,438,264	
支払利息	△ 121,986	
(B) 有価証券売買損益	1,298,663,869	
売買益	4,021,813,069	
売買損	△ 2,723,149,200	
(C) 保管費用等	△ 5,497,507	
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,783,476,807	
(E) 前期繰越損益金	38,205,401,437	
(F) 追加信託差損益金	10,655,763,016	
(G) 解約差損益金	△ 1,738,404,485	
(H) 計(D+E+F+G)	48,906,236,775	
次期繰越損益金(H)	48,906,236,775	

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。